



SHOSHINだより

発行:SHOSHIN本部 〒2620804 藤沢市湘南台1-14-4 Tel:0466-45-5555 Fax:0466-43-0439 Email:info@e-shoshin.com URL:www.e-shoshin.com

Ⅲ 入試対策選択講座

学費は変わらず
通常の約二倍強の授業時間を確保

SHOSHIN

選択講座の概要

Ⅰ期「基礎充実期」

Ⅱ期「応用発展期」

Ⅲ期「実戦演習期」

申し込みおよび手続き

後期中間テスト対策補習



SHOSHIN

中学受験コース 月曜特訓「実践演習期」&弱点克服道場

2009年度教室説明会

SHOSHIN

のびる

「塾へ通っている子供は遊ぶ時間がなく、かわいそうだ。」と書いた小学生の親からの投書を目にしました。そして「昔は暗くなるまで外で遊んだものだ。」と続きます。このような意見の根源には「子供は勉強よりも外で遊ぶものだ。」との認識があるのでしょうか、はたしてそうでしょうか▼小・中学生の親が生まれ、育ったのは、ちょうど日本が高度経済成長を続けていた時期にあたります。この時代は、まだ塾もほとんど無かった時代で、たしかに多くの子供たちは今ほど勉強していなかったことでしょう。このことが良いことだったと言えるのでしょうか。高度経済成長に浮かれ、週休二日制となり、リゾートブームの中、教科書が薄くなり、小学校では競争が罪悪であるかのような風潮がはびこりました。その結果、世の中はどうなつたでしょう。お金が万能の世の中になり、人の心はすさまじい凶悪犯罪や自殺者が増加する、住みにくい世の中になつてしまったのではないのでしょうか。子供が勉強もせず、遊びほうけている国が他国の見本となる立派な国になるはずがないと私は思います▼今の大人が「昔は・・・」と言う時の昔よりもっと昔、江戸時代の子供たちは、武士の子供であれ、百姓・町人の子供であれ、それはそれは厳しい教育を施されました。武士の子供が通う藩校では、ことのほか厳しい指導の中で文武両道を鍛え上げられました。会津、長州、長岡などの藩校では特に厳しい競争があつたようで、その中から将来の人材が育つていきました。百姓・町人の子供は、家事手伝いの傍ら、寺子屋で徹底して読み書きそろばんを修得させられました。その結果、江戸時代の識字率は世界一であつたといえます。経済的には貧しかったかもしれませんが、見事な文化が咲き、尊敬すべき多くの偉人が生まれました▼民主主義を標榜しつつも、人を信頼できない今の世の中と、封建的といわれつつも、義や情が通じた江戸時代とを比べてみると、少なくとも人の心は退化しているように私は思われます。そして、その遠因は子供の教育に大きく関わるように思うのです▼「さあ、競争だ」の合い言葉のもと、全国統一小学生テストが開かれました。基本的に、資本主義社会は競争の社会です。スポーツも競争です。ひとり勉強のみが競争を否定されるいわれはありません。全国の友達と競争する。そして今の自分の成績を知る。今までになかったこのようなテストは、子供たちに大きな刺激を与え、やる気を喚起させる試みだと思えます。ただし、この競争は人を蹴落とすような競争ではなく、お互いに切磋琢磨し、自己を鍛え上げるための競争であるべきだと考えます。(舟本)

